

# 価値創造プロセス

大建工業グループは、独自の強みを活かした事業活動を通じて、SDGs(持続可能な開発目標)をはじめとする社会課題の解決に貢献することにより、持続可能な社会の実現と、経済的・社会的価値の創出を目指しています。また、事業活動の基盤を確固たるものにするため、ESGを軸としたCSR活動を融合させ、一体で取り組みを進めています。

## 目指す姿

グループ企業理念の実現

▶P3

2025年  
長期ビジョン

「GP25」

Grow/Glow Plan 25

▶P4

中期経営計画  
GP25  
3rd Stage  
(2022~2025年度)

## 成長戦略と経営基盤強化

## 経済的・社会的価値の創出

社会課題・ニーズ  
(外部環境・トレンド)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

リスク 機会

重要課題  
(マテリアリティ)

▶P19-20

## 価値創造の源泉

### 財務基盤

株主資本：608億円  
有利子負債：355億円

### 生産体制

設備投資額：36億円  
生産拠点：20拠点

### 研究開発

R&Dセンター  
研究開発費：14億円

### 人財

連結従業員数：3,852名  
全国展開の支店・営業所網と市場・顧客別専任の営業人員グループ8社の施工管理体制

### 顧客基盤

住宅・建築業界から各種メーカーまでの幅広い顧客

### 天然資源

総エネルギー投入量：  
2,667千GJ  
水資源投入量：1,799千t

経営資源の投入

### 社会課題解決の追求

#### I. 成長戦略の加速



▶P31-32

ビジネスモデルと強み ▶P17-18

#### II. 経営基盤の強化



### 強みを活かした製品

▶P13-14

### 事業を通じた価値創造(CSV) ▶P25-28

- 国産木材の活用促進
- 木質資源の循環利用
- CO<sub>2</sub>の排出抑制
- 安全・安心・健康・快適な空間づくり
- 未利用資源の有効活用
- 耐震化の推進
- 省施工製品及び工法の開発



### 価値創造の基盤強化

最適化された  
財務基盤

強靱な  
事業インフラ

ESGにより強化された経営基盤

中期経営計画  
GP25 2nd Stage  
(2019~2021年度)  
経営目標  
▶P29-30

### 財務

- 売上高 2,250億円
- 営業利益 120億円
- 営業利益率 5.3%
- 純利益 70億円
- ROE 10%
- ROA 7%
- 自己資本比率 40%
- 配当性向 30%以上

### 非財務

- CO<sub>2</sub>国内総排出量 △26%  
(2013年度比) ▶P50
- ダイバーシティ総合指数※ +20pt  
※女性管理職比率などダイバーシティ8項目を指数化した当社独自指標(2018年度比) ▶P52
- 品質に関する重大な事故・違反 0件
- グループ企業理念浸透度※ +10pt  
※グループ企業理念に関する従業員の理解・共有・実践を指数化した当社独自指標(2017年度比) ▶P66